

# クラウドに登録されたエンドポイントをルームOSでアップグレード/ダウングレード

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[シナリオの説明](#)

[クラウド登録エンドポイントのソフトウェアアップグレード](#)

[デバイスを以前のRoomOSバージョンにダウングレードする方法](#)

[デバイスを手動でアップグレードする方法](#)

[TCソフトウェア上のSX/MXエンドポイント](#)

[クラウドに登録する予定のエンドポイントに適したパッケージをsoftware.cisco.comから選択する方法](#)

[Desk ProがCE OSバージョンにある場合のDesk Proステップアップグレード](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、クラウド登録エンドポイントのアップグレード/ダウングレードについて説明し、TCソフトウェアのSX/MXエンドポイント、Desk Proステップアップグレードの2つのエッジケースを分析します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Control Hubプラットフォーム
- エンドポイントのグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)によるエンドポイントの登録と管理
- ルームOS
- Control Hubを介したデバイスおよびソフトウェアのチャンネル管理

### 使用するコンポーネント

テストを実行し、このドキュメントで説明する結果を生成するために使用する機器：

- ルームキットエンドポイント
- Codec Plusエンドポイント

- SX10エンドポイント
- Desk Proエンドポイント
- 制御ハブ組織

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## シナリオの説明

クラウド登録エンドポイントのアップグレードおよびダウングレードのプロセスと、発生する可能性のある注意事項について説明します。

また、次のようなエッジケース\*の例も紹介します。

- クラウドに登録するには、TCソフトウェアを搭載しているSX/MXエンドポイントと、ルームOSへのアップグレードが必要です。

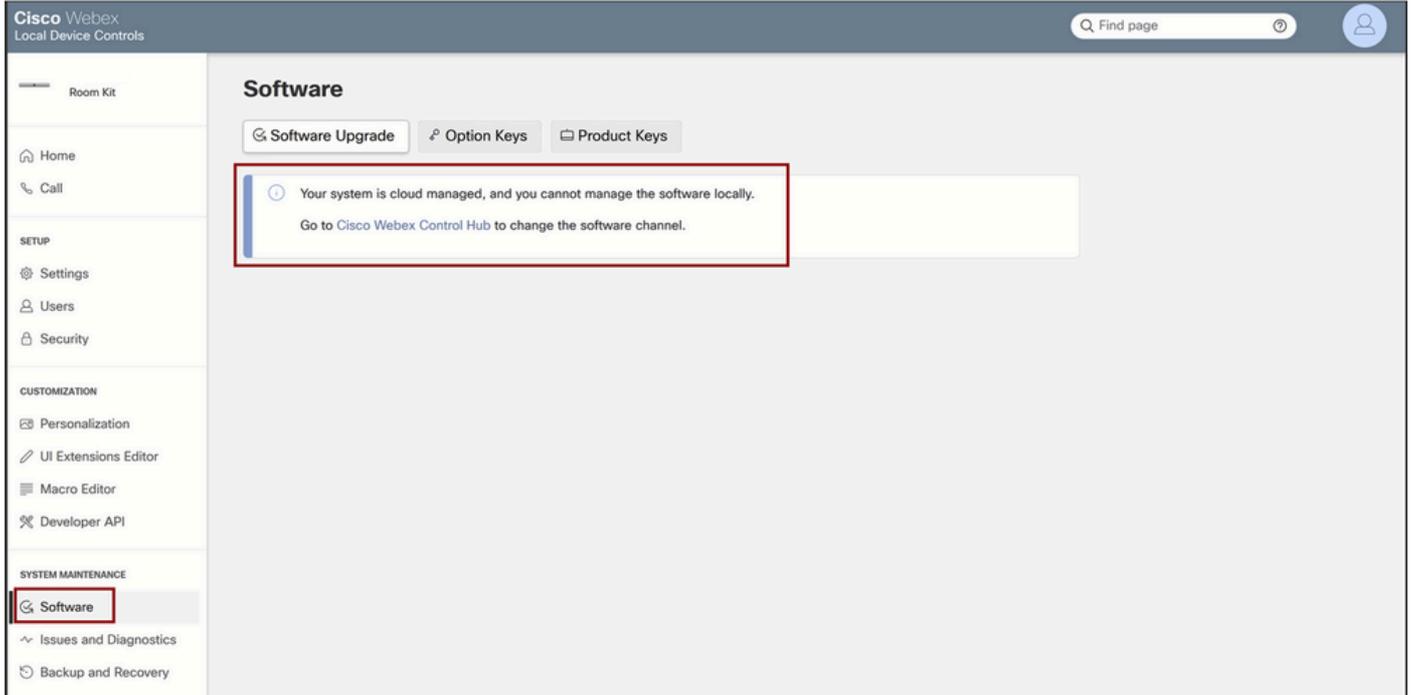
- Desk Proのステップアップグレード（Desk Proが古いCE OSバージョンにある場合）

\* これらのケースは通常、RMA後に新しいエンドポイントを受け取り、そのエンドポイントが古いバージョンのままになっている場合に発生します。

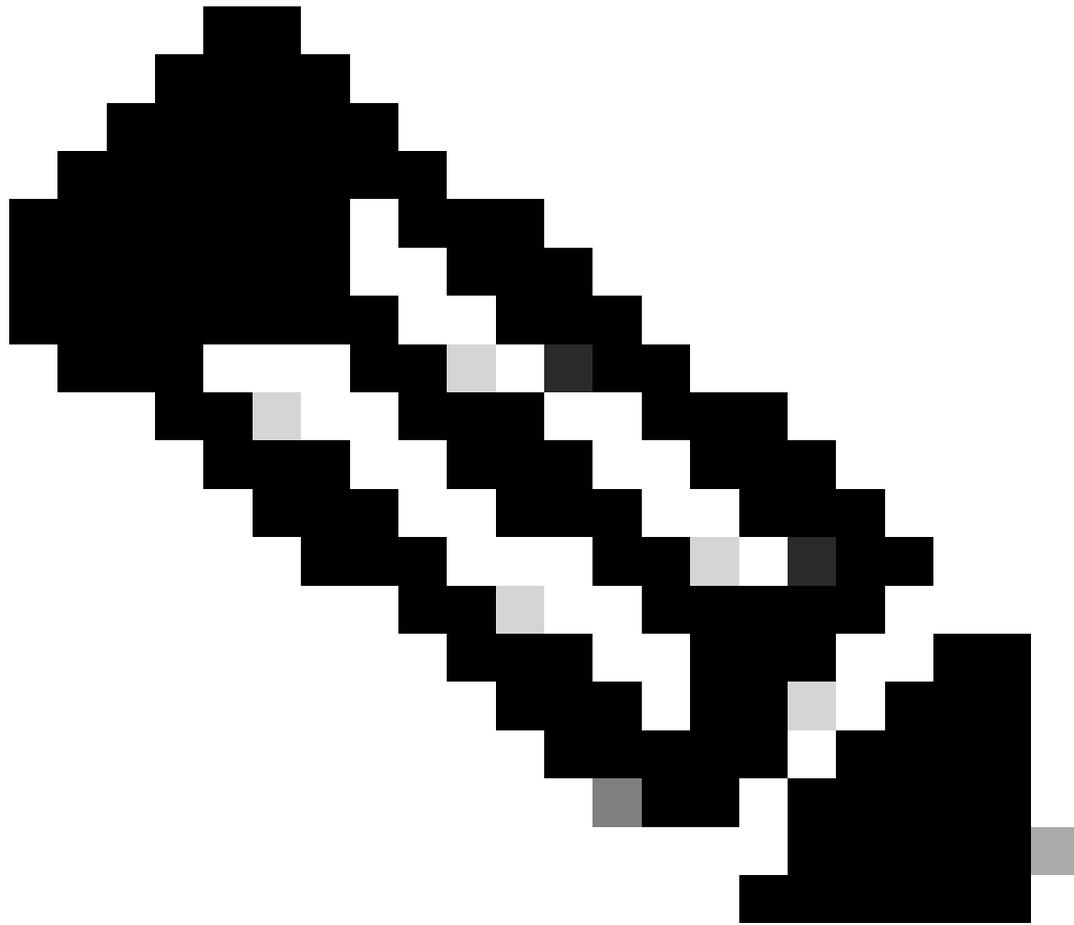
## クラウド登録エンドポイントのソフトウェアアップグレード

クラウドにすでに登録されていて、Control HubでOnlineと表示されているエンドポイントは、管理者の操作が必要なく自動的にアップグレードされるか、または管理者がデバイスがサブスクリプションしているソフトウェアチャンネルの次のRoom OSバージョンを手動で選択する必要があります。この記事([ここ](#)にリンク)では、ソフトウェアチャンネルの動作方法とソフトウェアの管理方法([RoomOS-software-upgrades](#))について説明しています。

クラウドに登録されたエンドポイントはローカルで管理できず、エンドポイントのGUIを使用してソフトウェアを手動でアップロードします。クラウド登録されたエンドポイントのGUIでSystem Maintenanceセクションの下のSoftwareタブに移動すると、次のように表示されます。



クラウド登録エンドポイントのローカルデバイス制御ソフトウェアセクション



注：エンドポイントのGUIにアクセスするには、WebブラウザでエンドポイントのIPアドレスを入力し、管理者のクレデンシャルを使用してログインします。デフォルトのユーザ名はadminで、デフォルトのパスワードは空白です。ただし、受信したばかりのエンドポイントまたは工場出荷時の状態にリセットしたエンドポイントに限ります。

アクセスしようとしているエンドポイントと同じネットワーク/VLAN上に存在する必要があります。そうでない場合は、デバイスのGUIを使用できません。

---

## デバイスを以前のRoomOSバージョンにダウングレードする方法

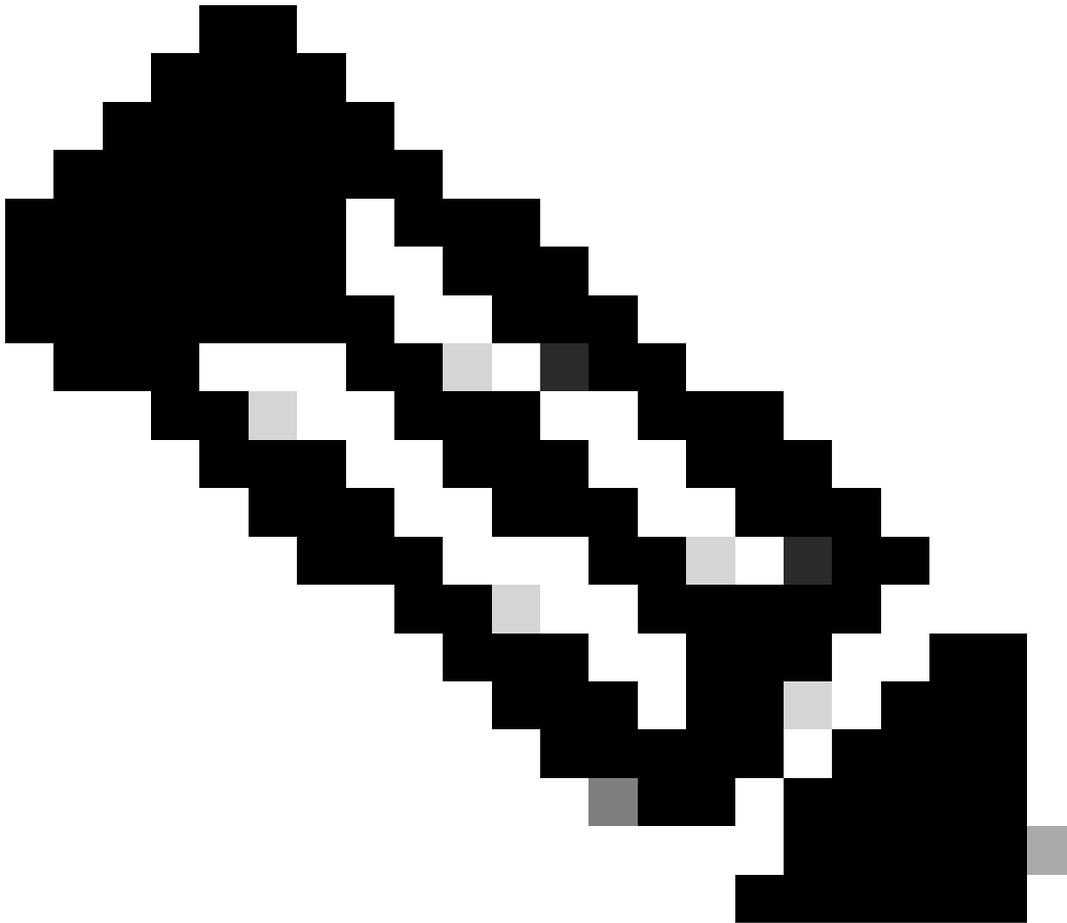
クラウド登録エンドポイントでは、3か月以上前のRoom OSバージョンへのダウングレードを実行できません。デバイスをダウングレードするバージョンは、Control Hub組織のソフトウェアチャンネルで使用できる必要があります。Control Hub管理者は、組織内のほとんどのチャンネルで使用できるRoomOSのバージョンを管理できます。



注:Control Hub組織のプレビューチャンネルは、常に最新のRoomOSバージョンをテストできる最新のソフトウェアバージョンであるため、影響を与えることはできません。

ソフトウェアチャンネルを以前のOSバージョンに移動するには、Managementセクションの下にあるDevicesタブに移動します。次にSoftwareタブを選択します。

The screenshot shows the Cisco Control Hub interface. On the left is a navigation sidebar with sections for MONITORING (Analytics, Troubleshooting, Reports) and MANAGEMENT (Users, Groups, Locations, Workspaces, **Devices**, Apps, Account, Organization Settings). The main area is titled 'Devices' and has sub-tabs for Devices, Templates, XOD Devices, Settings, **Software** (highlighted with a red box), and Resources. Below the sub-tabs are 'RoomOS' and 'Management' tabs. The 'Software upgrade' section shows a timeline from September to March. It lists three channels: 'Stable' (16 devices, manual updates), 'Verification' (1 device, manual updates), and 'Preview' (0 devices, automatic updates). A vertical line marks 'Today' in early February 2024. A 'New software release' notification is in the top right.



注：最後に公開された3つのRoomOSバージョンにアクセスできます。いずれかのチャンネルを以前のソフトウェアバージョンまたは今後のソフトウェアバージョンに移動すると、そのチャンネルに割り当てられており、現在オンラインになっているすべてのエンドポイントが、選択した内容に応じて、即時または夜間にアップグレードされます。エンドポイントを、そのエンドポイントが現在実行されているものとは異なるRoomOsバージョンを持つ別のソフトウェアチャンネルに移動した場合も、同じことが起こります。このため、安定したソフトウェアチャンネルを以前のバージョンに移行しないことをお勧めします。安定したチャンネル上のすべてのエンドポイントが影響を受けます。検証チャンネルでダウングレードしてテストを実行できます。ただし、検証チャンネルに現在割り当てられているすべてのデバイスが影響を受けます。それに応じて計画を立ててください。

---

次に、スクロールダウンして、確認チャンネルの横にあるソフトウェアの管理オプションを選択します。

**Verification** ⓘ

**Software version**

RoomOS December 2023  
Release

RoomOS 11.11.1.9 282feae77e4  
Version

December 11, 2023  
Last updated

-  
Expiry date

1449/1.0.96.2023111001  
Teams App

**Devices**

1 ⓘ /18 devices ⓘ

Devices

0  
Updated

1  
Update pending

1  
Offline

0 ⓘ  
Not supported

**Release Versions** ▼

**Changes** ▼

**Manage software**

Control Hubの検証ソフトウェアチャンネル

以前のRoom OSバージョンと、ダウングレードを実行する時刻を選択し、Saveをクリックします。

## Manage software release

- Automatic software upgrade
- Manually select software
  - RoomOS January 2024  
Supported platforms:  
  - RoomOS December 2023  
Supported platforms:  
  - RoomOS November 2023  
 Software version expires in 13 day(s).  
Supported platforms:  

### Time of upgrade

- Upgrade night-time ⓘ
- Upgrade now ⓘ

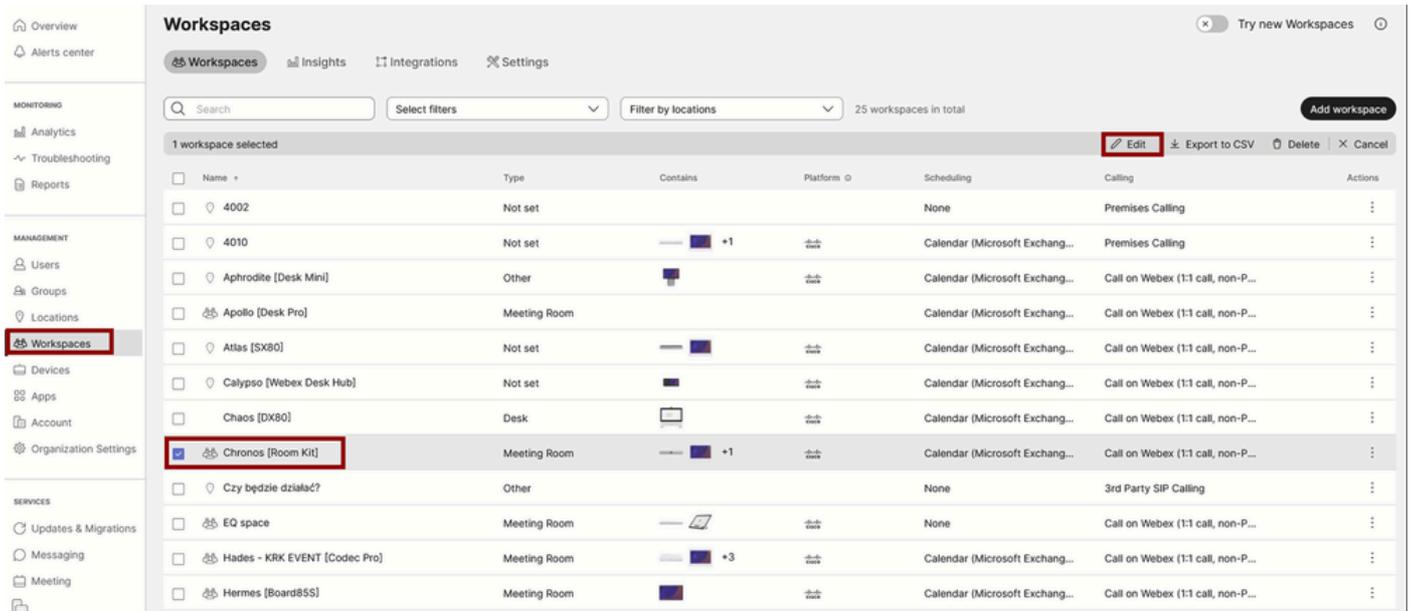
Verification Channel	1/18  Devices
RoomOS December 2023 Release	RoomOS 11.11.1.9 282feae77e4 Version
Microsoft, Cisco Supported platforms	- Expiry date
1449/1.0.96.2023111001 Teams app	

Cancel

Save

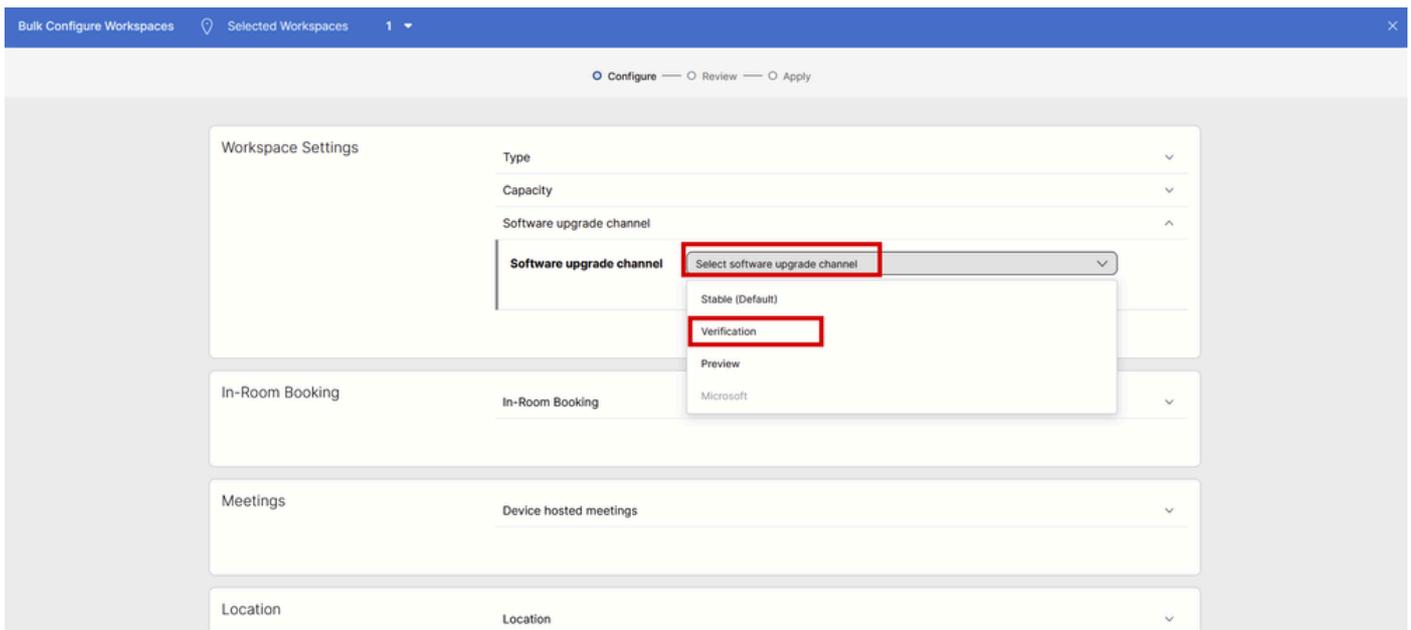
ソフトウェア管理ポップアップ

これを実行したら、Workspaceに移動し、デバイスが属するワークスペースを選択します。次にEditをクリックします。



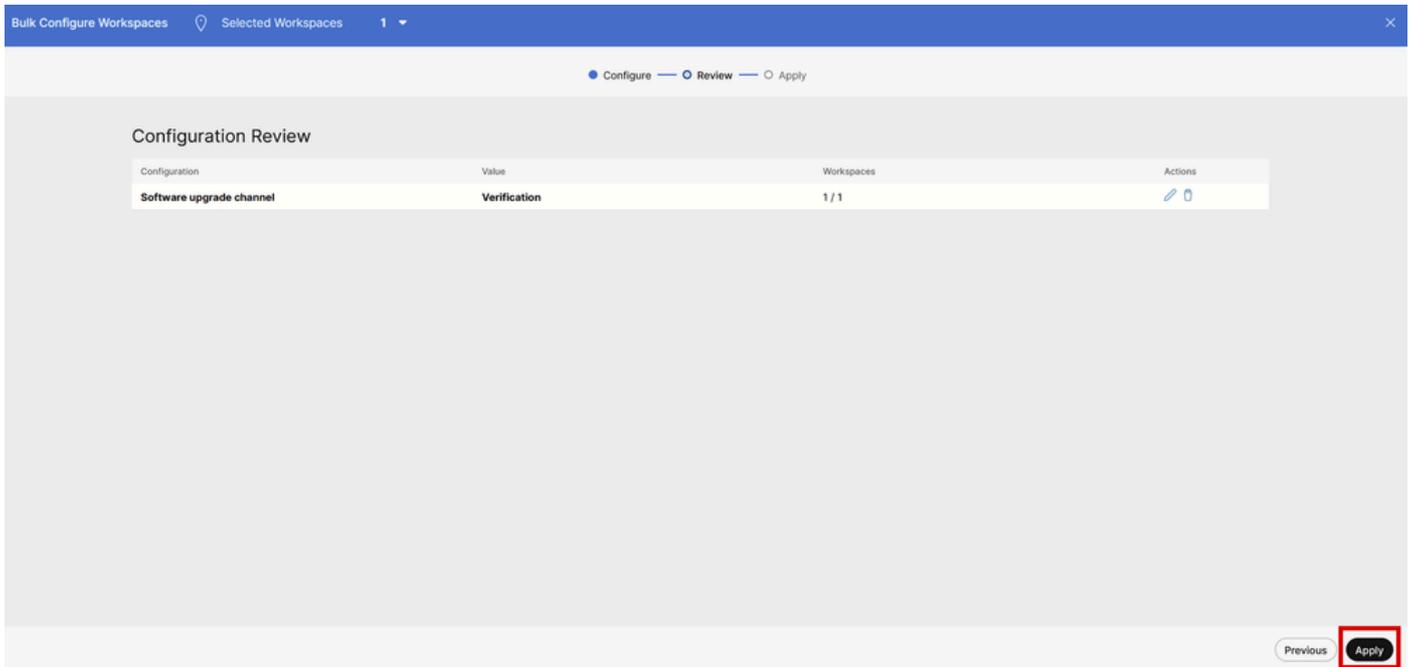
Control HubのWorkspacesセクション

表示されるウィンドウで、Select Software Upgrade Channelをクリックして、Verification Channelを選択します。



ワークスペース一括構成ウィザード - [構成]セクション

次に、画面下部のNextをクリックし、Configuration PreviewレポートでApplyをクリックします。



#### ワークスペース一括構成ウィザード - [確認]セクション

デバイスのダウングレードは、即時または夜間に行われます。エンドポイントがダウングレードされると、ペリフェラルのファームウェアがエンドポイントOSと互換性がないことを示すメッセージが表示されます。このメッセージは、エンドポイントのGUIまたはエンドポイント画面に表示されます。これは、周辺機器がまだリリースされていない「将来の」ファームウェアバージョンであることをエンドポイントが認識したときに発生すると予想されます。次に、周辺機器が、現在のRoomOSのバージョンと互換性のあるファームウェアバージョンにダウングレードされます。周辺機器のダウングレードが完了すると、このダウングレードバージョンでデバイスを使用する準備が整います。

## デバイスを手動でアップグレードする方法

クラウドにデバイスを登録できるようにするために、（クラウドに現在登録されていない）エンドポイントを新しいバージョンのRoom OSにアップグレードする必要がある場合、更新は自動的に行われません。デバイスのGUIから手動でアップデートを実行する必要があります。つまり、デバイスはすでにネットワークに接続されている必要があり、HTTP経由でデバイスにアクセスできます。これにより、GUIを介してデバイスにアクセスできます。

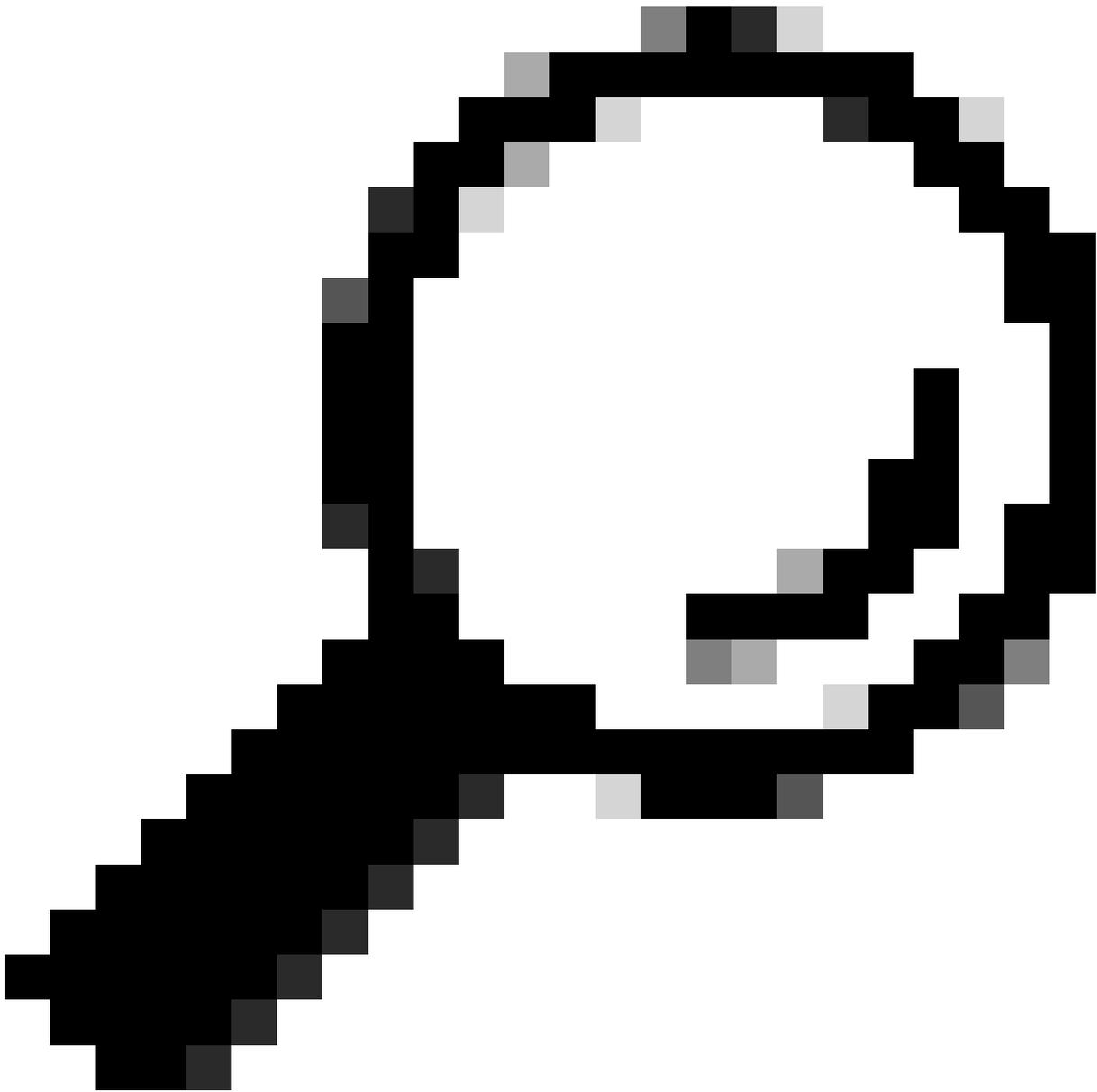
手動更新を実行するには、Maintenanceタブに移動し、Software Upgradeをクリックします。

The screenshot displays the Cisco Spark Codec Plus web interface. At the top, the Cisco logo is on the left, and the product name 'Cisco Spark Codec Plus' is on the right. Below the header is a navigation bar with tabs for Home, Call Control, Setup, Security, Maintenance, and Integration. The 'Maintenance' tab is selected and highlighted with a red box. A dropdown menu is open from the Maintenance tab, listing several options: Diagnostics, System Logs, Call Logs, User Interface Screenshots, Software Upgrade (highlighted with a red box), Option Keys, Backup and Restore, System Recovery, and Restart. The main content area is titled 'System Information' and contains a 'General' section with various system details. A yellow warning banner at the top right of the main area reads 'Issues with your system. See Diagnostics for more info.'

Product:	Cisco Spark Codec Plus
System time:	19:23
Browser time:	15:23
Last boot:	today at 15:00
Serial number:	
Software version:	ce 9.4.0 62bc0aa4505 2018-06-14
Installed options:	Encryption MultiSite RemoteMonitoring
System name:	
IPv4:	
IPv6:	-
MAC address:	
Temperature:	Normal

Status	Inactive
Proxy	-

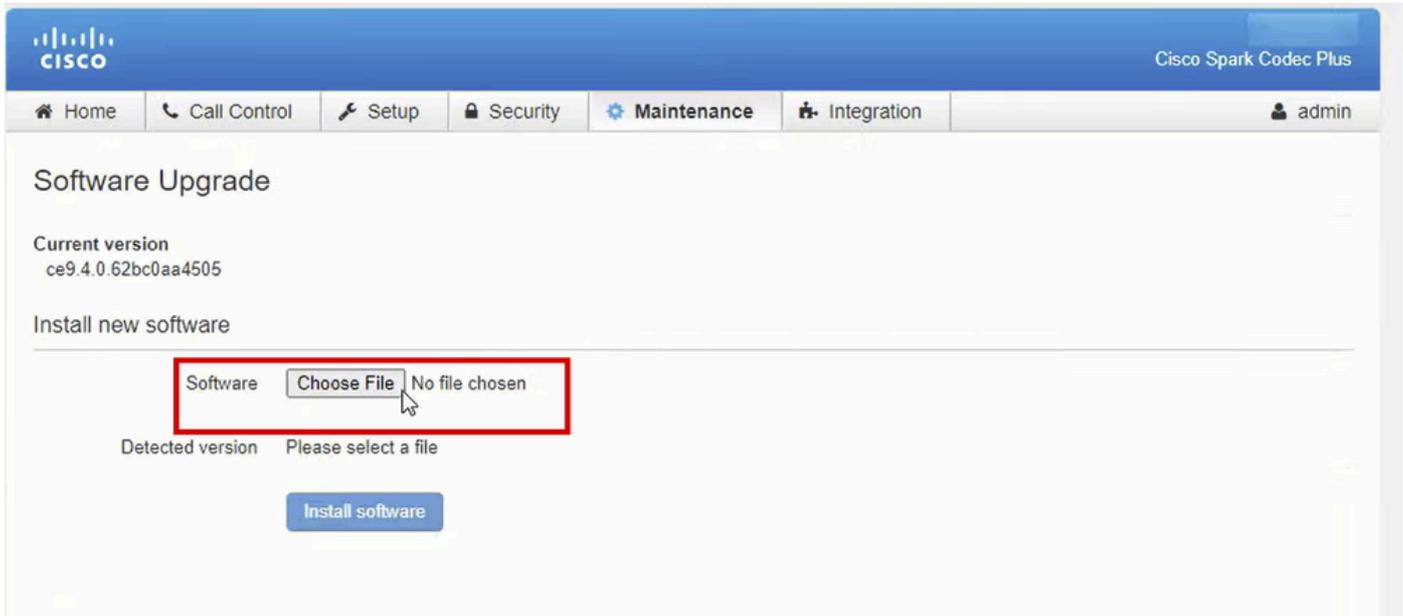
CE 9.4 OSバージョンのエンドポイントのGUIのホームセクション



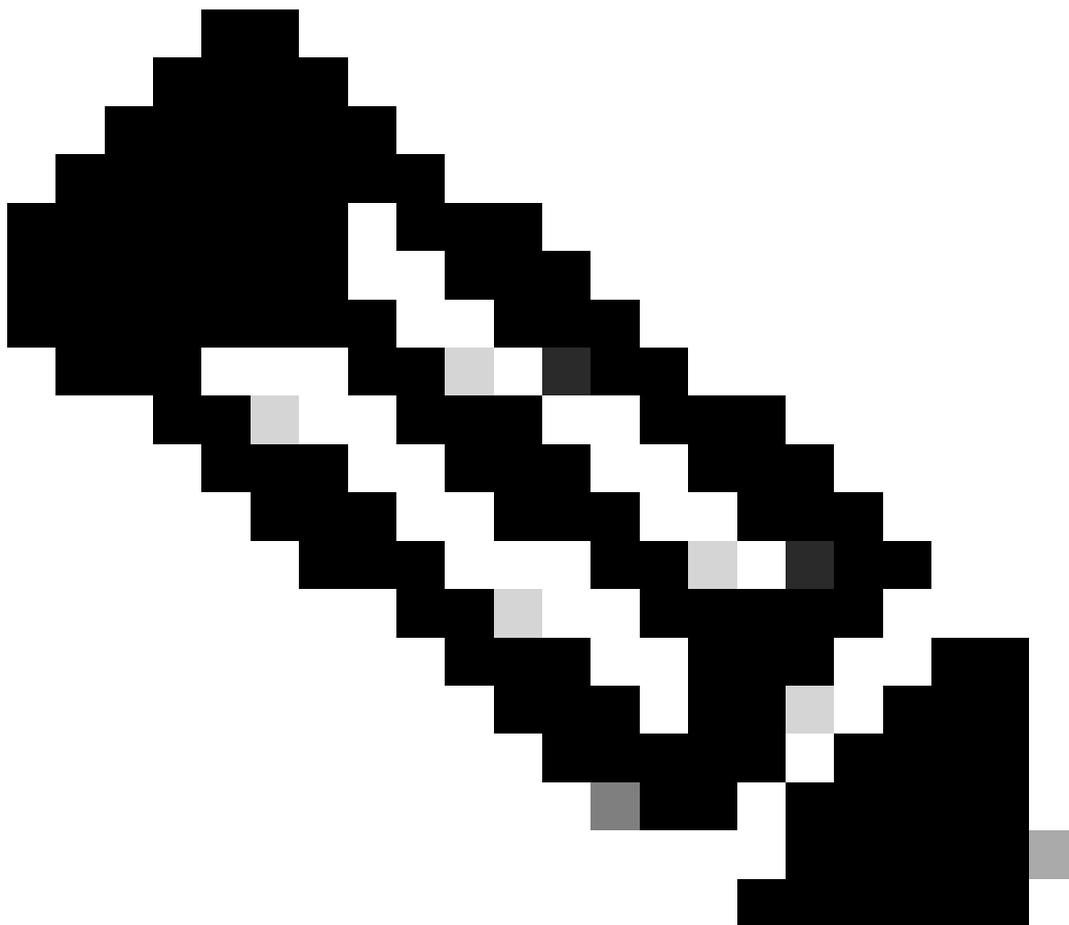
ヒント：前の例で使用したエンドポイントは、CEバージョン9.4 OS上のものです。エンドポイントが使用しているOSのバージョンによって、メニューを介したナビゲーションとGUIの要素の名前は異なります。

---

ソフトウェアアップグレードセクションに移動したら、マシンからローカルでソフトウェアファイルを選択してアップロードすることにより、エンドポイントをアップグレードするオプションを探します。この段階で、[software.cisco.com](https://software.cisco.com)からソフトウェアインストールパッケージをダウンロードします。それをアップロードして、Install softwareをクリックします。

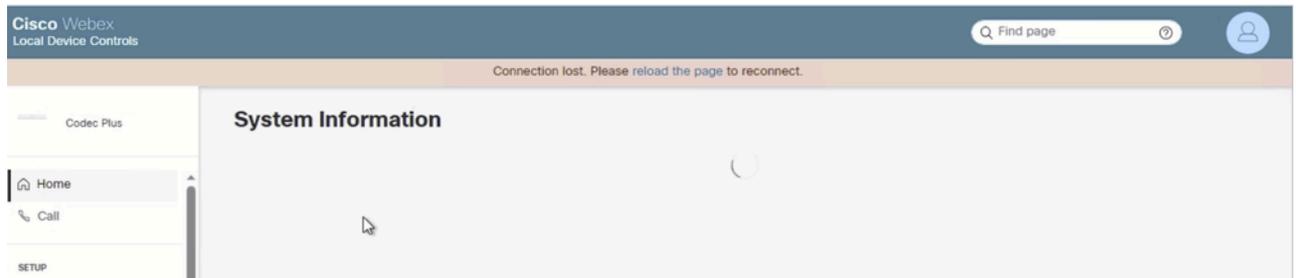


CE 9.4 OSバージョンのエンドポイントのGUIの「Software Upgrade」セクション



注：デバイスにpingできる場合、これは必ずしもHTTP経由でデバイスに到達でき、

GUIに正常にアクセスできることを意味するものではありません。pingはエンドポイントにICMPトラフィックを送信しています。GUIにはHTTP経由でアクセスします。デバイスがping可能であっても、デバイスのGUIにアクセスする際に、メニュー内を移動して次のメッセージが表示されない場合があります。



エンドポイントGUIのConnection lost/バナー

このシナリオでは、デバイスのネットワーク設定をもう一度確認すると便利です。デバイスの環境で設定されたプロキシ設定は、HTTPがデバイスに到達することに影響を与え、ブロックする可能性があります。

## TCソフトウェア上のSX/MXエンドポイント

まれに、TC OSバージョンのSXシリーズまたはMXシリーズのエンドポイントを受信し、それをクラウド登録をサポートする最新のCEバージョンにアップグレードする場合があります。このような場合は、CEへのアップグレードを成功させる前に、古いOSバージョンへの中間アップグレードを行う必要があります。

software.cisco.comに移動し、更新しようとしているエンドポイントに対応するソフトウェアパッケージを見つける必要があります。



注：SX10を最新のCEバージョンにアップグレードする場合は、SX10に適したパッケージを選択します。SX20に記載されているソフトウェアパッケージは使用できません。エンドポイントも同様ですが、それぞれに独自のソフトウェアリリースがあり、選択する必要があります。SX20エンドポイントのソフトウェアパッケージをダウンロードして、SX10のアップグレードに使用することはできません。エンドポイントのタイプが、使用しようとしているOSインストールファイルと一致しないため、インストールが失敗します。

---

たとえば、TC.3.14 OSバージョンのSX10デバイスは、CE9.15.15.4にアップデートできません。

CE9.15.15.4に直接アップグレードしようとする、「The Installation Failed: Installation failed」というエラーが表示されます。

まず、次に示すように、中間OSバージョンTC.3.21へのアップグレードを進める必要があります。

# Software Download

Downloads Home / Collaboration Endpoints / TelePresence Integration Solutions / TelePresence SX Series / TelePresence SX10 Quick Set / TelePresence Software - TC7.3.21

Search...  
Expand All Collapse All  
Latest Release  
CE9.15.17.4  
**TC7.3.21**  
All Release  
9.15  
CE9.15.17.4  
CE9.15.16.5  
CE9.15.15.4

## TelePresence SX10 Quick Set

Release **TC7.3.21**      Related Links and Documentation  
Release Notes for TC7.3.21

My Notifications

File Information	Release Date	Size	
Software for SX10 for CUCM cmterm-s52030tc7_3_21.k3.cop.sgn Advisories	13-Mar-2020	219.25 MB	↓ 🛒 📄
Software for SX10 s52030tc7_3_21.pkg Advisories	13-Mar-2020	220.46 MB	↓ 🛒 📄

## SX10 TC 7.3.21ソフトウェアパッケージ

TC7.3.21をダウンロードして正常にインストールしたら、エンドポイントを使用可能な最新のCEバージョンにアップグレードします。この記事の作成時点では、CE9.15.17.4になっています。

。

Search...  
Expand All Collapse All  
Latest Release  
**CE9.15.17.4**  
TC7.3.21  
All Release  
9.15  
CE9.15.17.4  
CE9.15.16.5  
CE9.15.15.4  
7  
TC7.3.21  
TC7.3.20  
Deferred Release  
9.15  
9  
8

## TelePresence SX10 Quick Set

Release **CE9.15.17.4**      Related Links and Documentation  
Release Notes for CE9.15.17.4

My Notifications

File Information	Release Date	Size	
Collaboration Endpoint Software bundle for all SX Series, MX Series, DX70 and DX80 for CUCM cmterm-ce9_15_17_4.k3.cop.sgn Advisories	21-Mar-2023	1404.99 MB	↓ 🛒 📄
Collaboration Endpoint Software bundle for all SX Series, MX Series, DX70 and DX80 for Unified CM 14 and above cmterm-ce9_15_17_4.k4.cop.sha512 Advisories	21-Mar-2023	1404.99 MB	↓ 🛒 📄
Collaboration Endpoint Software for SX10 for CUCM cmterm-s52030ce9_15_17_4.k3.cop.sgn Advisories	21-Mar-2023	320.32 MB	↓ 🛒 📄
Collaboration Endpoint Software for SX10 for Unified CM 14 and above cmterm-s52030ce9_15_17_4.k4.cop.sha512 Advisories	20-Mar-2023	320.32 MB	↓ 🛒 📄
Collaboration Endpoint Software for SX10 s52030ce9_15_17_4.pkg Advisories	21-Mar-2023	322.22 MB	↓ 🛒 📄

## SX10 CE9.15.17.4ソフトウェアパッケージ

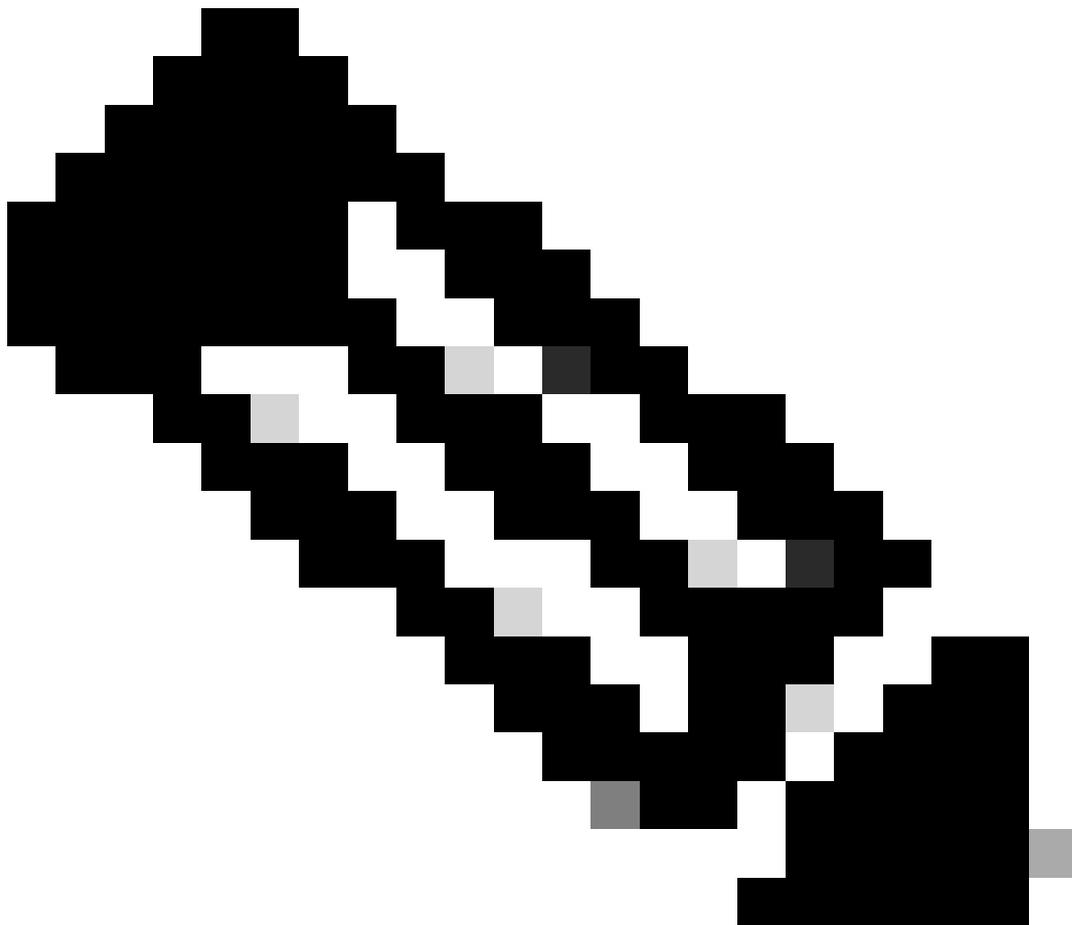
上記の2つのソフトウェアバージョンは、デバイスのGUIを介してインストールする必要があります。両方のバージョンを連続してインストールする必要があります。エンドポイントがTC7.3.21の状態のままになる理由はありません。かなり古く、新しいOSバージョンへのステップアップグレードとして使用する必要があるためです。

## クラウドに登録する予定のエンドポイントに適したパッケージを software.cisco.com から選択する方法

上の図では、赤い色の長方形で選択されたソフトウェアファイルの拡張子は.pkgです。各エンドポイントの各ソフトウェアバージョンの下に示されているソフトウェアパッケージは同一ではありません。パッケージの説明とパッケージ名を使用すると、エンドポイントを目的のOSバージョンにアップグレードするために使用する必要がある適切なパッケージを選択できます。

CUCMまたはUnified CMに使用できることを示すパッケージはすべて、クラウドに完全に登録する必要があるエンドポイントには使用しないでください。また、名前に末尾が.sha512を含むパッケージは、エンドポイントのGUIを介して実行されるアップグレードに使用できません。名前に.copを含むパッケージはオンプレミス導入に使用されるもので、完全にクラウド登録される予定のエンドポイントには使用しないでください。

---



注：最新のRoomOS 11バージョンにアップグレードする場合、利用可能なすべてのアップグレードパッケージに拡張子.sha512が付いています。Room OS 11に変更があり、xx.k3.cop.sgnパッケージが廃止されました。RoomOS 11へのアップグレードが必要な場合は、エンドポイントのGUIから行うアップデートに適切な.sha512パッケージを使用する必要があります。この変更の詳細については、「[ソフトウェアファイルが変更されました – 特定のアップグレードパスが適用されます](#)」を参照してください。

---

たとえば、ルームキットのエンドポイントを最新のRoomOS 11バージョンにアップグレードする場合、エンドポイントのGUIから手動でアップグレードするには、図に示されているパッケージを使用する必要があります。

## Room Kit

Release RoomOS 11.9.2.4

[My Notifications](#)

[Related Links and Documentation](#)  
[Release Notes for RoomOS 11.9.2.4](#)

File Information	Release Date	Size	
RoomOS software bundle for all supported Cisco Room Series, Board Series and Desk Series for use with Unified CM only <a href="#">cmterm-ce11_9_2_4.k4.cop.sha512</a> <a href="#">Advisories</a>	09-Nov-2023	2600.44 MB	<a href="#">↓</a> <a href="#">🛒</a>
RoomOS software for Cisco Room Kit, Room Kit Mini, Room Kit Plus, Room 55, Room 55 Dual, Cisco Room 70 and Cisco Board 55/55S, Board 70/70S, Board 85S for Unified CM and local upgrade <a href="#">cmterm-s53200ce11_9_2_4.k4.cop.sha512</a> <a href="#">Advisories</a>	09-Nov-2023	1603.40 MB	<a href="#">↓</a> <a href="#">🛒</a>

ルームキットRoomOS 11.9.2.4ソフトウェアパッケージ  
選択したファイルの説明が、この図に表示されていることに注目してください。「ローカルアップグレード」と記載されています。これは、パッケージを使用してGUIからエンドポイントをアップグレードできることを意味します。

## Desk ProがCE OSバージョンにある場合のDesk Proステップアップグレード

CE OSバージョンのRMAからDesk Proエンドポイントを受け取る可能性があります。このようなシナリオでは、エンドポイントを最新のRoom OSバージョンにアップグレードしてクラウドに登録する前に、ステップアップグレードを実行する必要があります。

- software.cisco.comにログインし、Desk Proソフトウェアに移動します。このリンクから直接アクセスできます。[ここ](#)
- CE9.15.6 StepUpgradeを見つけます。
- 次の図に示すステップアップグレードを含むパッケージをダウンロードします。
- デバイスのGUIを使用して手動でインストールします。

# Software Download

Downloads Home / Collaboration Endpoints / Collaboration Desk Endpoints / Desk Series / Desk Pro / TelePresence Software- CE9.15.6 StepUpgrade

Expand All Collapse All

Latest Release

- RoomOS 11.5.4.6
- RoomOS 11.9.2.4
- RoomOS 10.19.5.6

**CE9.15.6 StepUpgrade**

- All Release
- 10.19
- 9.15
- 11.9
- 11.5

## Desk Pro

Release CE9.15.6 StepUpgrade

[My Notifications](#)

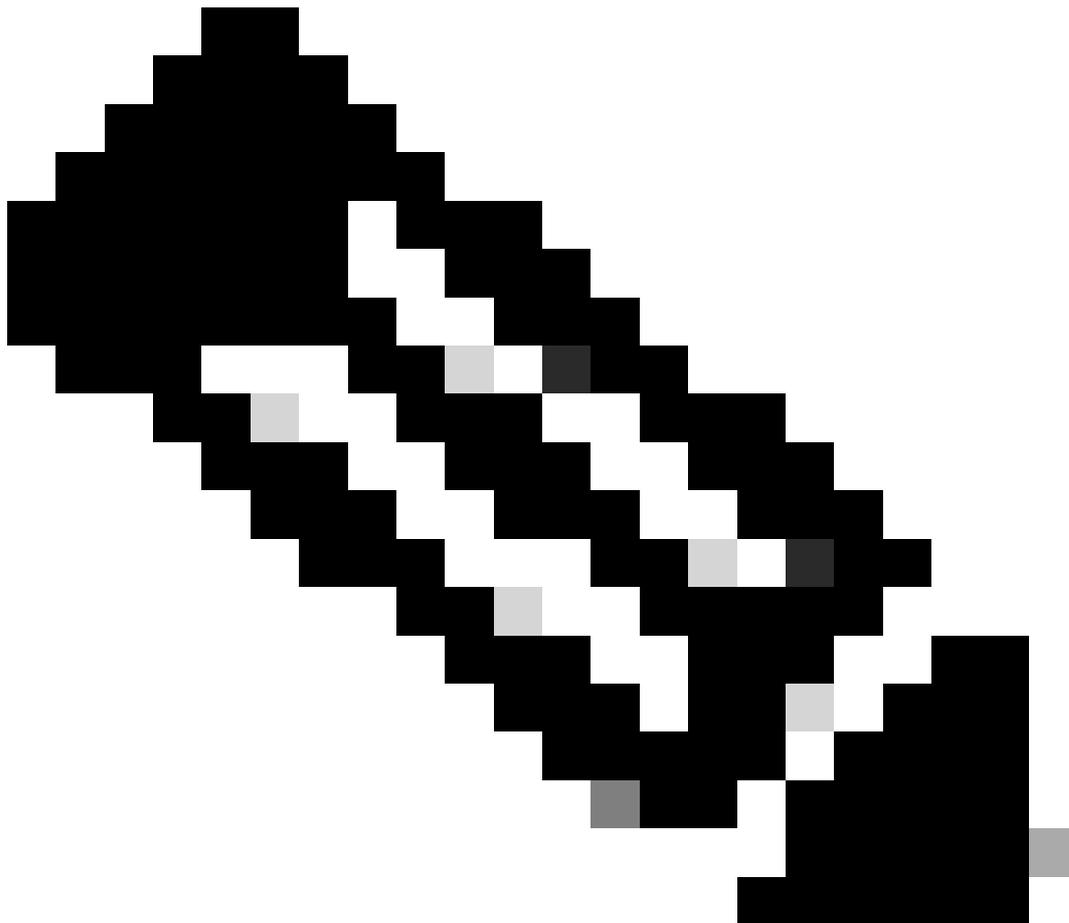
Related Links and Documentation  
[Release Notes for CE9.15.6 StepUpgrade](#)

Note: This is step upgrade software only. Do NOT download and install this software unless doing a step upgrade. Step upgrade software can only be used to go from one software build to another! This software download is for upgrades from CE9.9.0/9.8.1 and below to a later version. Please see the CE9 release notes for further details.

File Information	Release Date	Size
Step Upgrade Collaboration Endpoint Software for Cisco Webex Room Kit Pro, Cisco Webex Room 70 G2 and Cisco Webex Desk Pro from CE9.9.0/CE9.8.1 (and below) to later releases. Upgrade Video: <a href="https://video.cisco.com/detail/video/6274513704001">https://video.cisco.com/detail/video/6274513704001</a>	10-Sep-2021	753.22 MB

s53300ce9.15.6-step-upgrade.pkg

Desk Pro CE9.15.6 StepUpgradeソフトウェアパッケージ



注：デバイスをCE9.15.6 StepUpgrade OSバージョンで残して使用することはできません。このOSバージョンは、1GBを超えるインストールファイルからのアップグレードを禁止する制限など、古いCEバージョンのソフトウェア制限を克服する手段としてのみ提供されています。CE9.15.6 OSバージョンでは、デバイスはコールを実行できず、クラウドに登録できません。デバイスをすぐにRoomOS 10.19.5.6にアップグレードします。

インストールが完了したら、RoomOS 10.19.5.6をダウンロードしてインストールします。アップグレード手順は以前と同じです。利用可能なアップグレードパッケージは次のとおりです。

## Software Download

Downloads Home / Collaboration Endpoints / Collaboration Desk Endpoints / Desk Series / Desk Pro / TelePresence Software- RoomOS 10.19.5.6

Desk Pro

Release RoomOS 10.19.5.6

My Notifications

Related Links and Documentation  
Release Notes for RoomOS 10.19.5.6

File Information	Release Date	Size	
RoomOS software bundle for all Cisco Webex Room Series, Board Series, Desk Limited Edition and Desk Pro cmterm-ce10_19_5_6.k3.cop.sgn	17-Mar-2023	3119.25 MB	↓ 🛒
RoomOS software bundle for all Cisco Webex Room Series, Board Series, Desk Limited Edition and Desk Pro for Unified CM 14 and above cmterm-ce10_19_5_6.k4.cop.sha512	17-Mar-2023	3119.25 MB	↓ 🛒
<b>RoomOS software for Cisco Webex Room Kit Pro, Codec Pro, Cisco Webex Room 70 G2, Cisco Webex Desk Pro, Desk Limited Edition cmterm-s53300ce10_19_5_6.k3.cop.sgn</b>	17-Mar-2023	1573.48 MB	↓ 🛒
RoomOS software for Cisco Webex Room Kit Pro, Codec Pro, Cisco Webex Room 70 G2, Cisco Webex Desk Pro, Desk Limited Edition for Unified CM 14 and above cmterm-s53300ce10_19_5_6.k4.cop.sha512	17-Mar-2023	1573.48 MB	↓ 🛒

Desk Pro RoomOS 10.19.5.6ソフトウェアパッケージ

強調表示されているパッケージを、約1.5 GBの.cop.sgn拡張子を付けて使用します。その後、デバイスをクラウドに登録できます。登録が完了すると、エンドポイントが自動的に最新バージョンに更新されます。または、エンドポイントを手動でGUIから最新のRoom OSバージョンにアップグレードすることもできます。

## 関連情報

- [Control HubのRoomOSソフトウェアアップグレードチャンネル](#)
- [RoomOSドキュメント](#)
- [RoomOSリリースノートドキュメント](#)
- [すべてのエンドポイント用のソフトウェアパッケージ](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。